

13. 競技・運営上の諸注意

- ① ゲームを円滑に行うため、スコアシートの記入を、第1試合前までに確実に行ってください。
 - *試合5分前には、コーチが必ずスコアシートの確認をしてください。
(コーチ名の記入のないチームがあります。忘れずに記入をしてください。)
 - *スコアシート記入場所：1階控室前に設置します。(会場見取図を参照)
- ② 観客席はチーム指定席です。ただし、前列(2列)は試合該当チームの応援席となりますので、空けてください。
- ③ 試合時の貴重品管理は各チームでお願いします。
- ④ ごみは各チームで持ち帰ってください。
- ⑤ 体育館内及び屋外でのボールを使ったアップは禁止です。バスケットシューズのまま屋外への出入りは禁止です。
- ⑥ 試合中ベンチを立って指導できるのは、認定員の資格を持ったコーチ1人となっています。試合中は赤腕章をつけて指揮をしてください。(赤腕章はチームの指揮をとるコーチを表しています。)
- ⑦ 試合中、ベンチには、選手15名、認定員IDを着用の指導者4名(マネージャーID着用の1名を含む)までの計19名が入ることができます。その他の応援者は観客席で応援してください。
- ⑧ チームの順位決定方法は、次の順で決定します。
 - ア. 勝ち点の大なるチームを上位とします。
 - イ. ゴールアベレージ(総得点÷総失点)の大なるチームを上位とします。
 - ウ. 得失点差(総得点-総失点)の大なるチームを上位とします。
 - エ. 指導者による抽選で決定。
- ⑨ 試合終了時間が次の試合の予定時間より8分以内の場合は、8分間のインターバルを取ります。
- ⑩ ケガをした場合は、大会本部にお知らせください。医師によって応急処置ができるようにしています。
- ⑪ 置き引き盗難事故が発生しています。各チームは荷物の管理を徹底してください。
- ⑫ 体育館会場の電源は使用できません。また、フラッシュを使用してのカメラ撮影もできません。
なお、写真撮影は指定された業者(大阪フォトサービス)が行います。
- ⑬ 真剣な戦いの中にも礼儀と友好を忘れずに、最後まで気持ちよい大会となるようご協力ください。
- ⑭ 駐車場は各チーム5台までとします。指定された駐車場をお願いします。
(第1駐車場210台・第2駐車場305台)
- ⑮ 審判は全て派遣となります。なお、一部の試合ではジュニアリーダーが審判として入ります。

14. 大会役員

【埼玉県スポーツ少年団バスケットボール部会】

《本部役員》

[顧問] 矢代嘉章 [参与] 尾崎 豊 [部会長] 吉田弘一 [副部会長] 岡野一平・安田誠男・佐藤秀男
[事務局長] 菊島智代子 [事務局次長] 岩本健司

《東部地区》

[地区部長] 西松清志 [副部長] 関根英和・田子 勉 [委員] 野口英典・井口正勝・櫻井裕二・田口 廣

《西部地区》

[地区部長] 山岸文子 [副部長] 伊東公明 [委員] 時森雅也・百瀬康弘・平沼 忠・高木友美

《南部地区》

[地区部長] 伊藤恒夫 [副部長] 戸坂慶子 [委員] 宮下順子・松浦光一・森 明博・柴谷和幸

《北部地区》

[地区部長] 藤本龍司 [副部長] 風間芳男 [委員] 飯島一明・東海林尚美・久下素正・小久保寿英・千葉伸一

《中部地区》

[地区部長] 永島伸一 [副部長] 羽富宏平 [委員] 長谷川 勉・北原美穂・羽富宏紀・尾方国義

《ジュニア役員 男子役員：36名 女子役員：36名 審判：18名》

《審判》

埼玉県バスケットボール協会審判部より派遣

大会参加の皆さんへ

スポーツのルールは、同じ条件で競い合い、ゲームを楽しくすることやお互いを尊敬すること、危険を防止する等があります。人間社会もこれと同じようにルールやマナーがあります。

★お互いにルールやマナーを守って参加してください。

この大会の目的は、何が何でも勝つということより、バスケットボールの楽しさを味わってもらうことにあります。スポーツ少年団の一員として、ミニバスケットボールを経験し大きく成長した皆さんが、ジュニアリーダーとしてこの大会に参加し、大会を自ら運営をし、将来、プレイヤーや指導者として、また審判員としてバスケットボールに関わり仲間の輪を広げ、生涯にわたりスポーツを楽しんでいただくのが大きな願いです。

1. 指導者・コーチのベンチマナーについて

次のようなことを行ってはいけません。

- 審判の判定やT.O、相手に対して、無作法に不平不満を言ったり、大きな声で中傷罵倒を行うこと。
- ベンチの内外を問わず、器物を叩いたり、選手に対しての暴力行為（言葉も）を行ってはいけません。
- ゲーム中にみだりにコートの中に入ること（怪我等の特別な場合を除く）。
- 指導者IDカード着用者以外の指導者がベンチに入り指示を出したりすること。

2. 審判（ジュニアリーダー）、T.Oの支援について

- リーダーの審判やT.Oが未熟な場合があり、ゲーム中の判定や処理などにミスが生じることも考えられます。それらを非難するのではなく、育てる仲間として寛容に対処していくことが大事なことです。その一方、審判やT.Oは、その寛容さに甘んじることなく、プレイヤーが最大限の力を発揮できるように、技術の向上に努力すべきことはいふまでもありません。

3. 指導者・保護者へ

- スポーツには、応援や激励は不可欠なものといえます。しかし、興奮の余り時には自チームの応援に留まらず、相手チームや審判への罵声や中傷が聞かれることもあります。それらはチームの品位や指導者の資質まで問われることになりかねません。

また、ゲーム以外でのチーム、プレイヤーの行動も例年体育館から指摘を受けています。

この大会を続けていくためにも、運営上の諸注意をご理解のうえ、ご協力ご支援をお願いいたします。

※ 自分たちの大会は、自分たちの手をつくろう・・・・・・・・